

アジア・アパレルもの づくりネットワーク

若手を運営に起用

現地でリスク対策活動も

内閣府認証NPO法人
(特定非営利活動法人)
「アジア・アパレルもの
づくりネットワーク」
(AAP)は、先月二十
三日、東京で通常総会を
開き、交流会、セミナー、
海外視察などの今年度事
業計画や、新たに企画委
員会、アジア現地委員会
(現地AAP)の設置を

決めた。また役員改選で
は現理事を再任、代表理
事は小島正憲氏(小島衣
料)が再選、新設の副代
表理事に常川雅通氏(サ
ンテイ)が選ばれた。

新たに設置する企画委
員会は若手による運営で
活性化を図るのが狙い
で、常川副代表理事が担
当、古田真也氏(レナン



総会であいさつする小島代表理事

ミツアキ)ら五人で構成。
例会行事や視察ツアー、
イベントなどを企画す
る。また、現地AAPは、
会員がミャンマー、バン
グラデシユ、ベトナム、
カンボジア、ラオス、イ
ンドネシアに進出してお
り、現地における情報交
換のほか、ジェットロと連
携して弁護士、会計士な

どのリスク
対策ブラッ
トホームを
開設するの
が目的で、
順次、立ち
上げてい
く。

AAPは
現在、工場
・メーカー
の正会員が
三十五社、
協力会員が
十二社、特

別協賛会員が十社。小島
代表理事は「五年目に入
り、AAPの知名度は高
まってきた。実際に東南
アジア、南アジアに進出
している企業の役に立つ
組織、手助け出来る活動
を充実していきたい」と
語った。来賓として出席
したジェットロビジネス展
開支援課の伊藤亮一課長

は「元気のある企業に共
通するのはアジアの活力
を自社の成長戦略に取り
込んでいること。アジア
との共生やアジアをテコ
としたビジネスを展開し
ているAAPを支援して
いく」とあいさつした。

〈訂正〉四月一日号第三
面のAGMS新社長を
「伊 智勇」氏としまし
たが、「尹 智勇」氏の
誤りです。お詫びの上、
訂正します。